

第3回 白井市在宅医療・介護連携研修会 ～スムーズな入退院時の支援に向けて～

平成 28 年 12 月 15 日 in 白井市保健福祉センター 団体活動室

昨年12月15日木曜日に第3回在宅医療・介護連携研修会が行われました。今回は、病院における医療ソーシャルワーカー（以下、MSW）の業務について理解を深めるとともに、入退院時支援の課題について共有し、解決策について検討するグループワークを行いました。

病院での入退院時支援の取り組み紹介では、市内外4か所の病院（北総白井病院、白井聖仁会病院、千葉白井病院、日本医科大学千葉北総病院）にご協力いただきました。後半のグループワークにも、MSWの方々に加わっていただき、参加者と活発な意見交換が行われました。

お忙しいところ参加して下さった44名の医療・介護職の皆様、ありがとうございました。

≪ 第1部 在宅医療に関するアンケート 結果についての報告 ≫

昨年の秋に市が実施した在宅医療に関するアンケートの集計結果の一部を報告いたしました。

アンケートは市内の病院、診療所、歯科診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を対象に実施され、在宅医療の実施状況や在宅医療に取り組むことができない理由、他職種との連携状況など多岐にわたる項目について回答していただきました。

＜アンケート結果 一部抜粋＞

- ・訪問診療や往診を行っている診療所は8か所。
- ・在宅医療を提供できない理由は、時間やスタッフの確保ができないという回答が最も多い。
- ・訪問歯科診療を行っている歯科診療所は4か所。
- ・医師、歯科医師ともにケアマネとの連携意識は薄い。
- ・居宅介護支援事業所17か所に34人ケアマネが在籍。そのうち9割が福祉系の資格所持者。そのため、医療知識の不足が業務に影響を及ぼしていると思っている人が全体の半数を超えている。
- ・病院との情報共有ツールとして、地域生活連携シートを活用しているケアマネは約半数にとどまる。



≪ 第2部 病院における退院時支援の取り組み紹介 ≫

●北総白井病院●

医療相談室、地域連携室あり
医療ソーシャルワーカー 4名
入院早期から、退院支援が必要な方の把握するような体制をとっている。

●白井聖仁会病院●

地域医療連携室、医療相談室あり
医療ソーシャルワーカー 3名
整形外科とリハビリ科の週1回カンファレンスにMSWも参加して、入院早期から退院支援に関わっている。

●千葉白井病院●

地域医療連携室、医療相談室あり
医療ソーシャルワーカー 2名
病棟の朝の申し送りに参加し、退院支援必要患者の把握している。

●日本医科大学千葉北総病院●

医療連携支援センターあり
医療ソーシャルワーカー8名、退院支援看護師3名
来年度より退院支援を行う看護師が増員予定。MSWは病棟担当制で対応している。

《 第3部 グループワーク「スムーズな入退院時の支援に向けて」 》

医療・介護関係者が6グループに分かれて、話し合いました。

【入院時の課題】

●連携シート

- ・連携シートの存在を知らない。
- ・院内で連携シートの共有が上手く回れず、病棟の看護師が受け取っても、MSWまで回ってこない。

●情報の共有

- ・必要な情報が足りない。
- ・高齢者本人からの聞き取りが困難な場合も多い。
- ・入院前の状態や生活様式が分からない。
- ・介護認定の有無、ケアマネが誰なのか分からない。
- ・入院したことをケアマネも知らされないこともある。

●連携

- ・独居の方や家族がいても支援が受けられないなど、キーパーソン不在の場合が困る。



【退院時の課題】

●在宅を支援する側(ケアマネなど)の思い

- ・治療経過やADLの状態などの情報が欲しい。
- ・看護サマリーやリハビリサマリーがない。
- ・急な退院でのサービス調整は大変。準備が整わずに退院することもある。
- ・退院前カンファレンスや書面で使われる専門用語が多すぎる。
- ・病棟スタッフでも在宅に向けた意識に差がある。介護保険の認識を深めてほしい。

●病院側が感じていること

- ・在宅サービスの調整に要する時間が分かりにくい
- ・退院後に利用するサービスも含めて、どんな生活を送ることになるのか早期に把握して、リハビリに活かしたい。
- ・どのタイミングで在宅を支援する職種と連絡をとればよいか分からない。
- ・退院前カンファレンスの日程調整に苦労する。

スムーズな入退院支援を行うための解決策

【病院に取り組んでほしいこと】

- ・地域生活連携シートを活用してほしい
- ・連携シートの受け取り窓口を決めておく
- ・地域連携室等を設置する
- ・介護保険が必要と思ったら、早めの申請をすすめる
- ・入院早期からケアマネと連携を取ろうしてほしい
- ・退院前カンファレンスを開催してほしい
- ・退院前カンファレンスに医師が参加して、今後の治療方針や在宅での注意点を教えてほしい。
- ・介護保険制度を知ってほしい
- ・病院スタッフと在宅支援スタッフと勉強会を開くなどして、お互いの業務について理解を深めたい
- ・MSWとケアマネの連携を深めたい
- ・院内の連携も深めてほしい

【在宅支援する側に取り組んでほしいこと】

- ・地域生活連携シートの提出に協力してほしい
- ・住宅の状況についての情報が、リハビリ開始時にほしい
- ・退院前カンファレンスを開催してほしいと声をあげてほしい
- ・退院前カンファレンスに出来るだけ参加してほしい
- ・在宅サービスの調整に要する時間を具体的に教えてほしい
- ・お薬手帳の活用をすすめてほしい
- ・理学療法士の家屋調査に、ケアマネや福祉用具・住宅改修業者に立ち会ってもらいカンファレンスをした。



入退院時の情報共有ツールとして役立つ「地域生活連携シート」については、改訂に向けて千葉県が検討を進めています。改訂版の通知が来ましたら、皆様にも情報提供させていただきます。